

GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

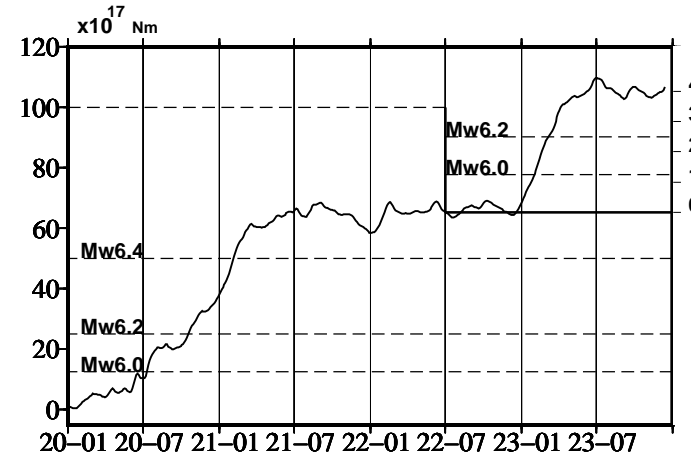
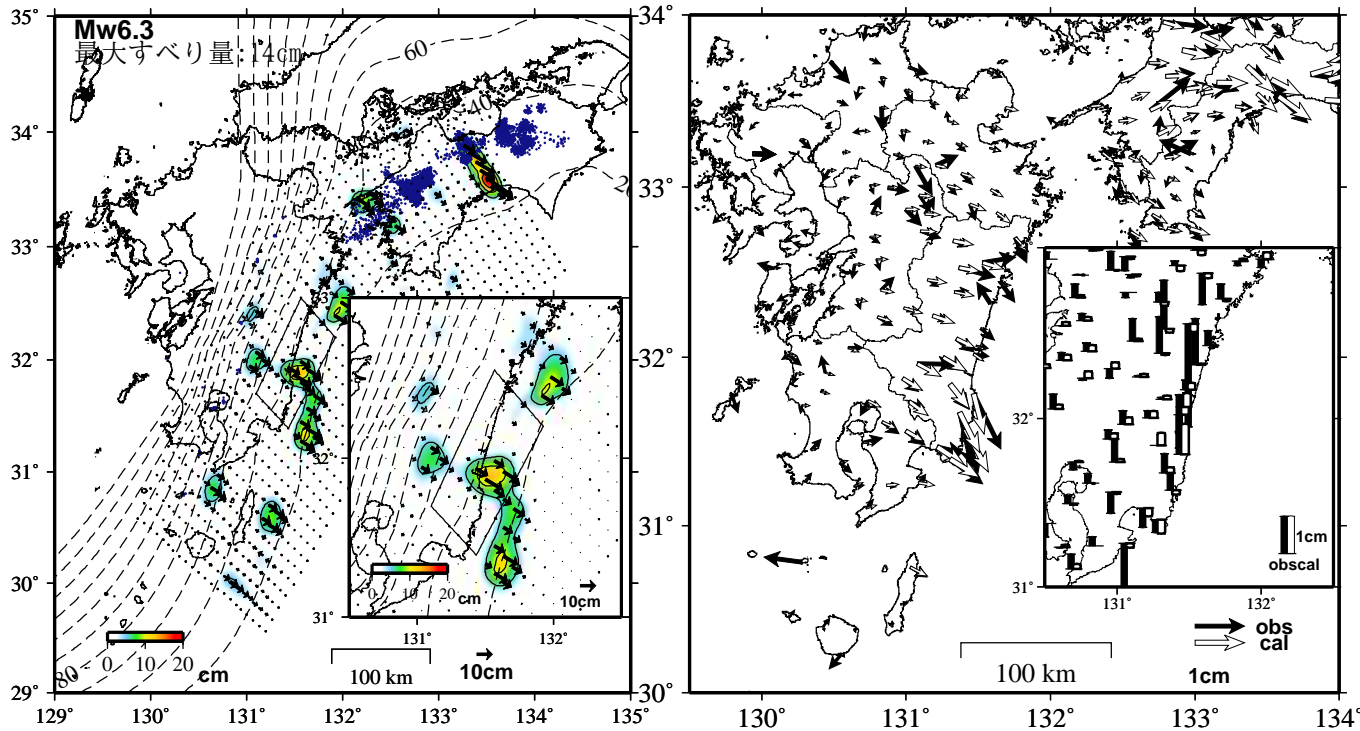
推定すべり分布

(2022-07-01/2023-12-14)

観測値（黒）と計算値（白）の比較

(2022-07-01/2023-12-14)

モーメント * 時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2020-01-01/2023-11-25)+R5解(2023-11-26/2023-12-14)*電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2006-01-01/2009-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

日向灘附近: 2007-10-01/2009-03-01

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2022-07-01/2023-12-14)

固定局: 三隅

*日向灘の地震(2022-01-22, Mw6.6)の地震時変動を除去している。

*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(Suito, 2017; 水藤, 2017)。

*共通誤差成分を推定している。

*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院